

大物言神社と一、日郡延福寺村文瑞堂を古社云と一
日郡三子を執者と稱して古上りの所なり

又旧号を用て當号を推するなり 他海郡延福寺
推現を宿主

推現ととも 又古社を永遠ひるなり
田川郡温泉
他郡大推

現を宿舎意令とも 又一社の要るる祭禮を
新山推現ハ本祀候那昨令之

非傳の人一遮りれて中隙一なり 大物
忌社

社二二季の祭礼 又國史一見へる事一を以て
あまを渡す

何 根に
出るなり
蕨屋より海山を以て一
ととも事一三代実派ありと

いふ事 又古國より社候所附の社を以て
故なり

所あり 田川郡余目ハに傳
白山大推現の所なり
其外國の旧記より

傳。社書上は渡るる教多あり

一 延壽式社名帳に載せしるる九社の外

一 國史に載せしるる七社あり

鰐田浦神 日本書紀
高泉神
三代実派
白磐神
日

須波神 日上
天向神
日上
城輪神
日上
温泉神
日上

是なり 其外東鑑和論語史本集亦に載るる

社あり 此社社の地為考卷中に記を但須波

神の由緒を未考

古城古館の事教す所記をといへ 九當主乃

姓名なき所ハ皆没落代記なり

一 三代実派貞觀八年九月八日桑下以出羽